

那智勝浦町の小学校で

「市小防災の日」に併せて防災学習を行いました！

～大規模土砂災害対策技術センター～

平成23年の紀伊半島大水害で大きな被害を受けた那智勝浦町にある市野々小学校では、災害から子どもたちの命を守るために地域と一緒に防災教育を進めています。この日は「市小防災の日」として、児童とその保護者が一同に集まり、和歌山県土砂災害啓発センターと大規模土砂災害対策技術センターが連携して、災害が起きた時にどう命を守れば良いかについての防災学習を実施しました。

<開催日>

令和6年9月14日（土）9:20～12:00

<開催場所>

那智勝浦町立市野々小学校

（和歌山県那智勝浦町市野々2604）

<参加者>

小学1年生～6年生 29名と保護者

および地域の方々



市野々小学校（那智勝浦町HPより）

市野々小学校
(和歌山県那智勝浦町)

前半は各学年ごとに防災学習についての授業参観を実施。後半の全体会では、最初に大規模土砂災害技術センターの小林技官が緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」について説明しました。



▲ 全体会のようす

小林技官からは、TEC-FORCEの砂防班として能登半島地震の被災地へ派遣された際に、地震で発生した土砂災害調査にあたったことやドローン操作の実演などを行いました。



▲ TEC-FORCEの説明をする小林技官

また、和歌山県土砂災害啓発センターの岐山さんからは、能登半島地震で被災地となった石川県能登町の宇出津小学校で支援に当たった職員の記録が紹介されました。最後に災害時に避難所で使用する段ボールベッドを高学年がリーダーになって実際に組み立てる体験を子供たちみんなで行いました。

参加された保護者の方々の感想

- ・ 紀伊半島大水害当時、私は自宅避難だったが、小学校に避難していたらこんな感じだったのかと考えた
- ・ 5、6年生の授業で備蓄の目標量を見たが、普段のローリングストックでは全然足りない
- ・ 避難所生活では娯楽も必要ということで、ゲームを持っていきたいという子どもの意見にも考えさせられた

校長先生のお言葉

防災教育では普段から土砂災害啓発センターの方にお世話になっているが、特に国土交通省の方に来てもらうことで保護者の皆さんの目の色も変わったように感じました

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター

〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6 TEL：0735-55-0820

